

ISSP 国際比較調査「家庭と男女の役割」・日本の結果(一部)

NHK放送文化研究所(世論調査部) 2013/1/31

▼調査の概要

・調査目的	ISSP(国際比較調査グループ)の加盟国が、家庭内の男女の役割分担などをテーマに実施する調査で、女性の就労・男性の家事・結婚や子どもを持つことに関する意識などを探る。
・調査時期	2012年11月24日(土)～12月2日(日)
・調査方法	配付回収法
・調査対象	全国の16歳以上の男女
・調査相手	住民基本台帳から層化無作為2段抽出 1,800人(12人×150地点)
・調査有効数(率)	1,212人(67.3%)

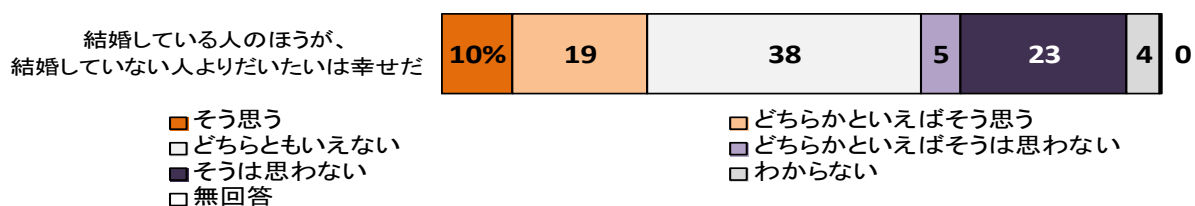
▼調査の結果(一部)

【結婚について】

男性で多い「結婚している人は幸せ」

○「結婚している人のほうが、結婚していない人よりだいたい幸せだ」と思うかどうかたずねたところ、「どちらともいえない」という人が38%と最も多い。『そう思う(どちらかといえばを含む)』という人は28%で、『そうは思わない(どちらかといえばを含む)』(29%)と同程度だった。

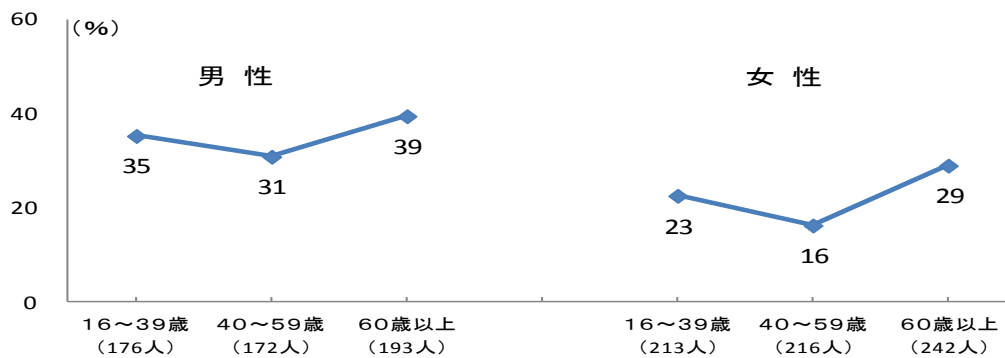
図表1 結婚している人のほうが幸せ(全体)



※ 回答結果をたし上げる場合には、実数でたして%を計算しているのので、%をたし上げたものと一致しないことがある。

○『そう思う（どちらかといえばを含む）』という人を男女別にみると、男性 35%・女性 23%となり、男性の方が多かった。男女年層別で比べても、すべての年層で男性の方が多くなっている。

図表2 結婚している人のほうが幸せ『そう思う（どちらかといえばを含む）』（男女年層別）



○男女の配偶者（パートナー）有無別でみると、男性では差がないが、女性では配偶者のいる人で「どちらともいえない」が44%となっていて、配偶者のいない人の32%を上回った。

図表3 結婚している人のほうが幸せ（男女配偶者有無別）

